

16 鳴く虫をさがしてみよう

用意するもの

かい中電灯、虫かご（昆虫の飼育ケース）、メモ用紙、鉛筆

やりかた

- 1 草むらを歩き、虫の鳴き声を聞く。
- 2 鳴き声がどこから聞こえるのか耳をすます。

※耳のすましかた

手のひらで耳たぶをおおい、鳴き声のする方向に体を向かせます。手のひらが集音機の役割をして、鳴き声の方向がわかります。

- 3 聞こえるところにそっと行き、虫を探す。
- 4 見付けられたら、手でつかまえる。

※1 ペットボトルの容器に入れるのも一つのやり方です。

2 鳴き声は聞こえても見付けるのはかなり難しいので、鳴き声は何種類なのか記録するだけでも貴重なデータになります。

3 鳴き声の様子をメモし、あとでインターネットでどんな虫の鳴き声か調べてみよう。



参考

- 1 コオロギの鳴く様子

コオロギは原則として右翅を上、左翅を下に重ね合わせます。右翅と左翅をすり合わせて、音を出します。スズムシもコオロギのなかまであり、同様にして音を出します。一方、キリギリスはその逆で、右翅を下に、左翅を上重ね合わせ、音を出します。

右翅（みぎはね） 左翅（ひだりはね）



触角（しよっかく）

エンマコオロギのオス

- 2 千葉県でふつうに見られる鳴く虫とその鳴き声

(1) コオロギ類

エンマコオロギ （コロコロコロリー）

ハラオカメコオロギ（リリリリリ リリリリリ：5音か6音で鳴く）

ミツカドコオロギ（キキキキキ：すどく速い音）

ツツレサセコオロギ（リリリ：切れ目がない。もっとも人家の近くにいる。）

アオマツムシ（リーッ リーッ リーッ：樹上で鳴く）

(2) キリギリス類

クビキリギス（ジーーーーー）

セスジツユムシ（ジーツチ ジーツチ ジーツチ）

※ 虫の鳴き声は、季節、昼夜、場所等によっても違いがあります。

参考文献)

- 1 大谷剛・八木剛（2005）プチ図鑑 兵庫県の身近な秋の鳴く虫、兵庫県人と自然の博物館
- 2 小田英智・松山史郎（2007）自然の観察事典 40 鳴く虫観察事典、偕成社
- 3 企画・発行 JICC 出版局、製作 岩波映画（1989）鳴く虫の発音観察学 小さな楽士たち